

3年～4年 【小数・分数のかき方の指導】

1. 小数のかき方の指導

(1) 小数のしくみ

小数は、十進位取り記数法を1より小さい方へ広げたものであり、10個集まって1となるものを0.1（れい点一）、10個集まって0.1となる数を0.01（れい点れい一）というように表す。

(2) 小数の読み方

小数はまず、整数部分を読み、次に小数点、小数第一位、小数第二位…の順に読む。右の小数は「れい点一」と読む。

(3) 小数のかき方

小数点は、日本ではピリオド（.）を用いる。指導では、小数点はピリオドすなわち小さな黒丸（.）と指導するが、計算などで実際にノートにかく場合は便宜上、点（.）とかく場合が多い。

かく手順は、①整数部分の数②小数点③小数第一位、小数第二位…の順にかくようにする。

ポイント 小数点にかく場合、コンマ（,）は3桁ごとの位取りに用いるため、コンマは使わないように注意する。また、小数点の打つ位置は、数字を1マスにかいた場合、図のようにマスとマスの間のベースライン上に打つように指導したい。

2. 分数のかき方の指導

(1) 分数のしくみ

1を2等分した1つ分を $\frac{1}{2}$ 、1を3等

分した2つ分を $\frac{2}{3}$ というように表したものを分数という。

(2) 分数の読み方

「(分母) 分の (分子)」と分母を先に読み、続いて分子を読む。例えば、右の分数は「五分の四」と読む。

帯分数の場合、まず、整数部分を読み、続いて分数を読む。右図の場合、「二と五分の三」と読む。

(3) 分数のかき方

①横線を引く②分母をかく③分子をかく、の順序で指導する。横線は分母と分子の間にかく。ノート指導の場合、1マスに1文字をかき、分母と分子の間のラインにそって横線を引くようにする。

帯分数では整数部分は横線の左横にかくようにする。

ポイント 分数の指導では、分母と分子の意味を理解できるようにし、計算でも分母と分子を意識させて指導することが重要である。そのため、分数を横に並べてかく場合などは、横線の位置や分母と分子をそろえてかくことや、帯分数においては、整数部分と分母、分子との区別がはっきりとわかるようにかくなど、分母、分子を意識しながら、丁寧にかかせることを心掛けたい。